



移住者と地元民 交流深める

じけのもん

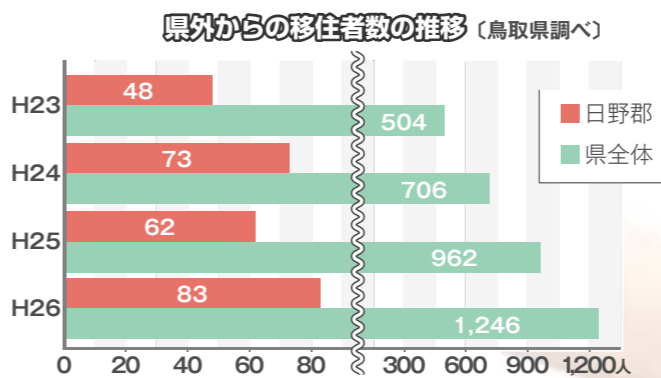
少子高齢化によって人口減少が進む中、多くの人が日野郡に移住されています。共通点の多い移住者同士が、お互いのことを知ることと仲間づくりのきっかけとなるように、地元住民と交えた交流会を開催しました。

増加する日野への移住

近年、人々の価値観の多様化によって、豊かな自然環境に囲まれた中での生活を望む人が増えており、田舎暮らしの関心が高まっています。

県の調査によると、平成26年度に県外から鳥取県へ移住してきた人は1246人で、全国でもトップクラスとされており、その数は年々増加しています。

日野郡も同様に増加傾向で、移住相談会や空き家バンク制度など、各町が移住者増加に向けて進めてきた取り組みの成果が出てきています。



また、都市部から地方に移り住み地域の活性化に取り組み「地域おこし協力隊」も増えており、郡内でも多くの協力隊員が地域を元気にしようとする様々な活動に励んでいます。

交流の輪を大きく

郡外から日野郡へ移り住むという共通点を持つ移住者の皆さんは、困りごとを相談し合うなどお互いに助け合えることも多いですが、町が違えば知り合う機会も少なく、これまであまり交流ができていませんでした。

そこで、移住者同士がお互いのことを知り、ネットワークを広げるきっかけとなるように、地元住民と交えた交流会を日野郡3町と日野振興センターが協力して2月19日に日南町総合文化センターで開催しました。

交流会には、移住者や地元住民が約70人参加し、地元有志によって提供された暖かい手作り料理や、日野郡に関するクイ

ズ大会を楽しみながら、初対面同士でも和やかに親睦を深めていきました。

開会にあたり日南町の増原町長は、「地域おこし協力隊の皆さんは、任期中を有意義に過ごして、日野郡に残る基盤を作ってほしい。また、地元の皆さんには移住者を温かく迎え入れてもらう地域であってほしい。」とあいさつ。

日南町に移住した後藤知也さんは、「ここに移り住んで1番気に入ったのは人の優しさ。この交流会を機会に人との繋がりを広げたい。」と話し、江府町の圓山加代子さんは、「色々な人と繋がるのができた。またみんなで集まって、交流の輪をもっと大きくできたら嬉しい。」と今後への期待を語りました。

日野郡3町と日野振興センターは、今後も協力して移住者の交流を深める取り組みを進めていきます。